

# 2021年7月度 中部品質工学研究会 議事録

1. 開催日時 2021年7月3日(土) 10:00~17:00
2. 開催場所 Teamsを用いてのリモート(オンライン)
3. 会員参加者<敬称略>S: オンサイト出席・L: オンライン出席、欠: 欠席、書: 書記、休: 休会

大見	L	牧野	L	横尾	L	杉浦	L	城越	L	合田	L	伊藤	L	舟山	L
出島	L	福田	L	水田	L	山中	L	小峰	L	山口(展)	書	黒田	L	鈴木	L
古谷	L	池田	L	三浦	L	岡本専務	L								
小西	休	中山	休	山口(直)	休	庄内	休	李	休	河合	休	則尾	休		

## 4. 研究会内容

### 1) 田口伸先生 講演会

- ・ 答えを教える"コンサルティング"より、育てる"コーチング"が必要
- ・ ASIではDFSSの手法としてIDDOVを採用。 QEをやるにはIDDOVが最適手法
- ・ N社のDFSS導入きっかけは？  
→N社内の問題解決法の指導のために呼ばれたリー氏が普及させた
- ・ DFSS研修の参加参加者は、他の業務を止めて専任で参加しているのか？  
→NO. 基本的に「-βしてからの+α」で参加するが、DFSSはプロジェクト推進に必要なことで、実務と分けて捉えるべきではない。
- ・ Pughのアイデアの絞り込みは机上で行う？  
→机上で行うことが多い。 新しいアイデアを出す(イノベーション)のが目的なので、あまり点数付けの正確さにこだわりすぎない方が良い。
- ・ Pugh実施時の人数は？  
→専門家3~6人程度で行う。 徹底的に議論し尽くすことが大切
- ・ Dr.Taguchiはなぜ「お客の声をきくな」と言ったか？  
→お客さんは「自分が欲しいもの」を知らない。  
お客さんの要求≡文句を要求機能にするより、「理想機能」のロバストネスを考えることが大切。
- ・ 技術者が顧客に触れることは大切。 社内の後工程の人の声を聞くのも役に立つ。
- ・ 計測を「早く簡単に正確に」行える→比較パラメータが増えるので有益

### 2) 輪講 ロバスト設計の為に機能性評価18章 (福田)

- ・ 損失関数を使用したSN比と感度の統合について輪講を実施した。
- ・ 動特性での望目機能、望小機能、望大機能のそれぞれにおける損失関数の式について説明した。

### 3) 流体シミュレーション (古谷、大見)

- ・ CFDの目的と使用する解析ソフトの紹介をした
- ・ 現在取り組んでいる事例について展開した
- ・ 解析と実機の合わせこみに1か月かかっており、短縮したい

#### アドバイス

- ・解析目的が曖昧なので、まずは目的を明確にする
- ・モデルを簡易にできないか（ばねマスみたいなもの）
- ・メッシュ設定は適切か（時間、精度の観点）
- ・ある目的変数だけに注目すると他のトレードオフな関係の要素が見落とされる可能性があるので注意が必要

#### 4) RQES 2021 出席者報告

- ・椿先生の講演は良かった！
- ・発表はMAZDAが多い（13事例/77事例）
- ・会長賞：YKK 金賞：NIKON 銀賞：MAZDAとIHI
- ・参加者は228人
- ・発表の多い企業（ALPS/ALPINE:6件 YKK:5件 DAICEL:4件 ROHM:3件）

#### ☆司会（大見さん）

聴講者から質問がない場合は司会者が質問するが、発表者が身内の場合質問しづらい。。

#### ☆連携委員会について

- ・横通しの連携
- ・田口先生の考え方の構造化
- ・QEのテキストを作成して企業に普及

それぞれの取り組みに委員会がある

→詳細は合田さんまで

☆来年もTeams開催

#### 6) 事務局連絡

- ・NASサーバー置き換え…進展なし
- ・slackの権限を調整。 全員入れるはず
- ・テーマ相談…牧野さんネタあり
- ・業務改善事例…山中さん報告 →過去資料を岡本専務より送付
- ・8月度研究会…AM:輪講→山中さん業務改善事例→事務局連絡  
PM:13:30～16:30で中野先生講演

- ・関西QE合同研究会 参加者

山中 牧野 合田 池田 大見 出島 小峰 城越 船山（敬称略） 計9名

・芝野先生著「基本機能ハンドブック」を研究会費で購入し、全員に配布  
論文等で最終的に出てきた機能を体系的に整理したもの（電気系ネタは少ない...）

- ・会則改訂

12章 研究会から会員に支給する費用として「交通費」「日当」に加え「参加費」を追記。

（会員の所属企業が負担する場合は除く）

→事前に伊藤社長にメールで申請し、事後に領収証をPDF等電子データで送付すればOK

以 上